

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：すくすく保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：林 浩子	定員（利用人数）：59(67)名
所在地：〒224-0027 横浜市都筑区大圃町74-12	
TEL：045-595-0415	ホームページ： https://cyouyou-kai.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2001年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 長幼会	
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員：12名
専門職員	（専門職の名称）：名 調理師：3名
	保育士：25名 看護師：1名
	管理栄養士：1名 栄養士：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0.1歳児室 設備：厨房
	居室：2歳児室 設備：事務室
	居室：3歳児室 設備：調乳室
	居室：4歳児室 設備：沐浴室
	居室：5歳児室 設備：乳幼児用トイレ
	設備：地域子育て支援スペース
	設備：園庭

③理念・基本方針

<理念>

児童の最善の幸福のために、豊かな愛情をもって児童に接し、最善の利益を尊重する。

<基本方針>

【思いやりのあるたくましい子の育成】

- ①子どもの最善の利益を守り、安心・安全な保育を目指す。
- ②子どもの健やかな育ちを支援し、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たす。
- ③高齢者や地域の方々とのふれあいを通じた豊かな保育を目指す。

<保育目標>

「思いやりのあるたくましい子の育成」

子ども間の年齢の枠を超えた交流やふれあい体験、遊びや季節行事などを通して、人間形成の基礎となる思いやりの気持ちや心身ともにたくましい子どもの育成を保育目標とします。また、家庭や地域社会との連携を密にして、職員一同、子どもの人権を守り、真心と愛情をもって子育て支援に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

<すくすく保育園の特徴的な取組>

- 高齢者及び子どもの年齢の枠を超えた交流
- 豊かな自然環境を活かし、五感を育む。
- 菜園活動を通じて収穫した野菜を利用した食育への活動
- 園の周りの生き物の飼育を通して新しい命との出会いや成長を体験し、思いやりの気持ちを育てる。
- 外部講師（和太鼓・えいご・体操指導）の指導により文化や言葉の違いを知り、感性を育てると共に体操指導を通じて健全な成長を促す。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年04月30日（契約日） ～ 2024年09月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2019年度）

⑥総評

【すくすく保育園の概要】

●すくすく保育園（以下、当園という）は、社会福祉法人長幼会（以下、法人という）の経営です。法人は現在、平成13年4月開設の当園の他に神奈川県内に認可保育園3園を開設・運営しています。さらに、平成24年3月からは横浜市立新井小学校を活用して放課後キッズクラブの事業を実施しています。法人では、子どもの人権や主体性を尊重し、保護者と一体となって心身共に健康な児童を育てていくことを目標とし、利用者及び地域と協力し、積極的に児童福祉の推進を図り、地域の子育て支援に尽力しています。

●当園は横浜市営地下鉄グリーンライン「東山田駅」から徒歩15分の閑静な住宅街の中に位置し、周辺は当園前の早濑川や、自然豊かな日本の原風景的な環境に囲まれています。園舎は、2階建てで十分な園庭を備え、曲線を活かしたモダンな園舎であり、5年前には外壁等の修繕を施し、24年が経過した様子が感じられない構えです。園内は床、椅子等、木を豊富に使った備品を採用し、子どもたちは自然物の心地良い感触を学習しています。また、採光を工夫して自然光を大事にする等、環境を整えています。

●法人理事長が経営している医療法人の内科・小児科医院で病後児保育を運営しており、乳幼児、低学年児童の病児保育や、介護老人保健施設（都筑ハートフルステーション）と高齢者グループホーム（横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）が隣接され、地域の子育て支援、高齢者向け支援の取組が地域支援の一助となっています。すくすく保育園では、日々交流を図り、夏祭り等の行事でも高齢者と交流を図っています。

◇特長や今後期待される点

〈特長〉

1. 【地域貢献について】

法人名の「長幼会」の由来に、乳児から高齢者を対象にした事業を関係化することによるシナジー効果を重視しています。具体的には隣接された介護老人保健施設、高齢者グループホームと、日々行き来して交流することで高齢者のモチベーション向上、子どもたちの優しさの芽生え等に寄与しています。また、理事長が運営する内科・小児科医院が近隣にあり、病児保育等、地域の保護者支援にも取り組んでいます。

2. 【生命の尊さを知るについて】

自然豊かで閑静な住宅街の当地で24年に亘り運営し地域に根付いた保育園となってい

ます。自然環境を生かして採取した昆虫を孵化させて生命誕生の尊さを実感できる機会を提供しています。実際に菜園で採取したアゲハの幼虫がチョウになる変化を観察する等、図鑑では知り得ないリアルな体験ができています。

3. 【伝統文化を学ぶことについて】

日本の伝統文化である「和太鼓」を年間通したカリキュラムに取り入れています。礼儀作法、協調性、向上心、表現力、体幹を鍛える等、伝統文化への理解の深まりと共に人間力育成への効果が期待されます。3月には卒園予定児からバチの譲受をするセレモニーがあり、次の年長児にバチ譲渡式を行い、和太鼓への思い、バチの大事さ・重みを受け取り、「意志」・「本気」を継承しています。そして、園のモットーである「思いやり」の心の浸透に取り組んでいます。

〈期待される点〉

1. 【理念の活字化について】

揺るぎない保育理念が存在しています。事務所入口上に掲示されている「本気」、「思いやり」等、法人としての理念的な考えは園内で公開され周知に努めています。これらのスローガンを重要事項説明書等で端的に表現され、公知することで広く利用者、地域に理解を促し、さらなる協調・協力が期待されますので取り組んでいかれることを望みます。

2. 【ICTの活用について】

国及び神奈川県をはじめ、保育の質の向上に向けた取組として保育者の業務環境の改善の必要性からICTの活用を推進しています。当園でも導入は図っていますが、現段階では園児の登降園管理の利用に留まっています。今後、順次移行可能な業務から取り組んでいくことで保護者を含め、利便性・効率性の向上を図るよう期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 すくすく保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

第三者評価の取組に当たり、全職員が自己評価を行ったものを基に、少人数のグループで一つのものにまとめ、一つひとつの項目ごとに保育主任と共に確認しました。

今年度は職員の入替わりがあり、自身の振り返りと共に、園を知り、今までの保育を見直す機会になりました。

今後も、恵まれた立地環境を生かし、自然とのふれあい・人とのふれあいを通して、保育目標である「思いやりのあるたくましい子の育成」に向け、日々の保育を大切にしていきたいと思えます。

《評価後取組んだこととして》

1. 利用者アンケートでは、多くのご意見をいただき、満足度の難しさを感じました。職員と共に、改善点の取組に努めると共に、日々の活動やお子さんの様子等、きめ細かく分かりやすくお伝えすることを心がけていきます。

2. 保育の中で、設立当時から受け継がれている幹を大切にしながら、時代の変化に合わせて取り入れていくものを考え、園としての基準を整えていきます。

3. 次世代へ引き継いでいくことを視野に入れ、人材育成の面でも、人事評価制度を活用しながら、保育に係る人としての質の向上・モチベーションの維持・向上につなげていく取組を行っていきます。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり